



# YMCA

月刊 The YMCA 付録  
 編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本郷町7番地  
 大阪青年 発行: 錦織一郎 編集: 大阪 YMCA 広報室  
 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6  
 TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297  
 URL: http://www.osakaymca.or.jp/  
 (年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

## 大阪青年

2007 Apr. 4

No. 594

### 大阪 YMCA の使命

大阪 YMCA は、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCA の世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

# 新たな力を得る 125 周年の大阪 YMCA

大阪 YMCA 新総主事 **すえおか よしひろ** **末岡 祥弘**



「主に望みをおく人は新たな力を得、

驚のよう翼を張って上る。

走っても弱ることなく、歩いても疲れない」

(イザヤ書40章31節)

1882年、一粒の種が大阪の地に蒔かれました。澤山保羅(浪花教会初代牧師29歳)、宮川経輝(初代会長・大阪教会牧師25歳)を中心とする青年たちの小さな群れに蒔かれた種が大阪 YMCA の創立につながっていきます。それは「人と人が出会って、神と人間の座標軸の中で新しい自己を発見し、新しい社会を創っていく」とした(隅谷三喜男「第二の世紀を担うもの」)運動でありました。

以来多くの人びとがこの運動に関わり、幾多の変遷を見せながらも大阪 YMCA は事業や法人を整え大きく成長し今年125周年を迎えますが、その歴史は施設や事業

の歴史でもなく特定のすばらしい個人のはたらきの歴史でもありません。時代時代の「新しい自己」の求めに答え、新しい社会を創るために苦難の中にあっても主に望みを置き、「誠実に人に関わってきた小さな一人ひとりのはたらき」こそ私たちが誇り継承しなければならぬ大阪 YMCA の歴史そのものなのです。

大阪 YMCA は昨年4月、将来展望「VISION2010」を再確認し、『ネットワーク型福祉社会(希望を持って共に生きる社会)』の実現へ向かうチャレンジを今一度明らかにしています。

今年行われる創立125周年記念事業は、VISION2010を思い描き、「小さき一人ひとりが主体となって人びとに種を蒔く各地域 YMCA の事業」が中心となって展開されます。私たちはこれら一つひとつの業にこそ新たな力を得、驚のように翼を張って上ることができのです。新たな社会課題にチャレンジするための自己変革を恐れず、主に望みをおき、大阪 YMCA に連なる皆様と共に走っても弱ることなく、歩いても疲れない、新たな力を得る125周年の大阪 YMCA でありたいと願っています。

### 地の塩

▼始まりはいつもうれしい。一日の、一週間の、月の、そして4月新年度の始まりに、立ち止まり、ふりかえりながら、期待を新たにします▼「私は

よみがえりであり、いのちです」(ヨハネ11:25) ▼4月8日は復活祭(イースター)です。地にある者も天上の者も、イエス・キリストの復活を共に祝います▼YMCA とさばり保育園が開園して一年を経過しました。朝、子どもたちが父母に手を引かれてやってきました。夕になると親の手につかまり、喜々として帰っていく。幼な子の持つ不思議な力と輝きにこちらまで元気をもらいます▼2月には社会福祉法人サンホーム創立10周年を記念してお祝いをいたしました。安心感溢れる表情でスタッフと笑顔を交わす。そこに YMCA の社会への貢献の一端をうかがうことができました▼今年は大阪 YMCA 創立125周年記念の年です。創立以来このかた先人を尋ね、歴史ある YMCA 運動の成り立ちに今一度思いを新たにしたいものです。社会に貢献したいお年寄りから、社会の真っ只中で活躍している現役世代、そして保育園・幼稚園に通う子どもたちへと次代を引き継いでいきます。天地創造から永遠へとつづく歴史の中の YMCA 運動は、今はほんの一瞬かもしれない▼次代に YMCA を託していく上でも、今を大切に歩んでまいりたいと願っています。

(琢)